

稲毛海浜公園自然観察会

浜辺のいきものを観察しよう！

平田 稚江子（千葉市）

日 時：2023年6月4日（日）10：00～12：00 天候：晴れ

場 所：いなげの浜 干潮：10：56（潮高-4 cm）

参加者：22名（大人 13名 子ども 9名）

担当指導員：田島 中田 平田 事務局：伊藤

心配していた雨も前日にやみ、青空が広がる観察日和となり、ほっとしました。

今日の観察会では、あらかじめ配布した海の生き物ビンゴの用紙を参考に観察する、浜に打ち上げられたものや貝殻などを集める、という課題にチャレンジしました。海に出る前に日本庭園の池の上を巡回しているショウジョウトンボを観察。その真っ赤な姿に大人の方もしばらくは目を留めていました。

海に出て早速観察を開始、小さな生き物がたくさんいることに驚きの声が上がっていました。ハゼの仲間（ドロメ）ボラの稚魚なども群れて泳いでいて、皆さんの網にかかっていました。ヨコエビやエビ、エビジャコ、ヤドカリ、カニなど次々に採集しながら突堤まで歩いていくと、男の子が砂浜に波線の模様がついていることに気づきました。波の作用によってできる模様で資料に書いてあると伝えると、「ほんとだ、波の模様だね」と納得していました。また、タマシキゴカイの卵嚢が砂浜のそこら中にありましたが、波に流されないように砂にしっかりついていることを発見するなど子どもたちの自然を見る生き生きした観察眼に感心しました。

海の観察会で恒例になった「ヤドカリ競争」もスタジアムをリニューアルし、楽しみました。子どもたちに人気で何度も対戦していました。最後に、今日拾い集めた貝殻などを、みんなで市松模様の布の上に置いてもらいました。素敵なコレクションになりました。次に採集した生き物の解説をして終了となりましたが、特筆すべきは、子どもの手のひらサイズのタコがいたことです。なかなか生きたタコは見つけれないので、みんなで観察出来良かったです。他にニホンスナモグリ、イソガニ、ガザミ、マメコブシガニ、などのカニのなかま、バカガイ、アサリなどの二枚貝、ツメタガイなどの巻貝、ホヤのなかま、クモヒトデなど多くの生き物を観察することができました。



みんなで集めたコレクション



ビンゴ用紙を見ながら観察



恒例ヤドカリ競争